



Data	
監督:	ガイ・ナティーヴ
脚本:	ガイ・ナティーヴ、シャロン・メイモン
原案:	シャロン・メイモン
出演:	ジョナサン・タッカー/ジャクソン・ロバート・スコット/ダニエル・マクドナルド/アシュリー・トーマス

■■■ショートコメント■■■

◆これはすごい！衝撃的！長篇『SKIN』の上映に先立って、この短編を上映してくれたシネ・リーブル梅田に感謝。

アメリカに「白人至上主義」なるものが存在し、そんな「主義者」のグループの1つである秘密結社「KKK」が存在することは『評決のとき』(96年)を観て知っていた。しかし、長編『SKIN/スキン』の主人公ブライオン(ジェイミー・ベル)が、共同創設者として2003年に発足させたレイシスト集団「ヴィンランダーズ」とは？

◆愛妻と1人息子の3人家族で幸せそうに暮らしている主人公の仕事は、あまりまともではなく、彼は白人至上主義者のグループのリーダーらしい。したがって、黒人を見ればことあるごとにそれを痛めつけるのもお仕事だ。

本作冒頭、スーパーでの買い物を終えレジで精算しようとしていた主人公が、同じようにレジを済ませようとした1人の黒人と言い争いになる風景が描かれる。しかし、その後、車に向かう黒人の後を追った主人公の行動は？

◆5月25日にミネソタ州ミネアポリスで黒人男性が警察官に取り押さえられて暴行死した事件の映像は衝撃的だったが、本作に見る映像は間違いなくそれ以上。主人公とその応援に駆け付けたグループによってボコボコにされてしまった黒人の命は？

◆そんなショッキングな映像にはびっくりだが、本作の真骨頂は後半。ことあるごとに息子にも「白人至上主義」の大切さを教えている主人公だが、ある日息子の目の前で黒人たちの待ち伏せに遭い、拉致された主人公の向かった先は？そして、そこで主人公が受けさせられた執拗な手術とは？

◆人間の肌の色は生まれながらのもので、白人、黒人、黄色人種の肌の色は変えようが

ない。私はそう思っていたが、昏睡状態にある主人公が次々とにさまざまな注射をされている姿を見ると、意外にそうではないのかも？また、全身に彫られたタトゥーは日本のヤクザと同じように、白人至上主義者の「誇り」だが、これも昏睡状態の中、1つずつ焼かれ、はがれていくと・・・？

◆拉致された主人公がある日、路上にポンと放り出される風景は、かつて韓国の「金大中事件」を描いた映画で見た風景と全く同じ。フラフラと立ち上がった主人公は、明らかに何らかの意図をもって歩いているようだから、その目的地はきっと妻と一人息子が待つはずの懐かしい我が家だ。しかし、ドアをノックする主人公を一目見た妻の対応は？その目に映った男の姿を見れば、妻のそんな反応も当然と思えるものだったが、それは一体なぜ？本作ラストのこの衝撃的な映像には、全世界が衝撃を受けるはずだ。こりゃ、必見！

2020（令和2）年7月13日記